

ほのほの

No. 11

誰もが安心して暮らせる
支えあいのまちづくり



4月23日、高根町デイサービスセンターでは「春のお花見」に出かけました。当日は快晴に恵まれ、時おり頬に心地よい風の吹く暖かい日で、絶好のお花見日和でした。利用者の皆様も彩り鮮やかなチューリップに囲まれ、自然に笑顔がこぼれておりました。

社会福祉法人
北杜市社会福祉協議会

CONTENTS

- ・新会長あいさつ、新理事・監事・評議員の紹介 … 2
- ・社会福祉協議会組織図 …………… 3
- ・平成21年度事業計画、予算 …………… 4～5
- ・平成20年度事業報告、収支報告 …………… 6
- ・杜のボランティア …………… 7
- ・インフォメーション …………… 8～9
- ・あたたかいご寄付をありがとう 他 …………… 10



「就任のあいさつ」

会長 長田 伯雄

会員の皆様には益々「ご清祥のこととお慶び申し上げます。」

この度、北杜市社会福祉協議会会長に就任いたしました長田伯雄です。

もとより微力でございますが、これまでの経験を踏まえ、これからの北杜市社会福祉協議会の円滑な運営をとおして地域福祉の充実と発展のために、その職責を全うするよう努めてまいり所存でございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、近年、家族関係の変化や住民相互のつながりの希薄化、経済不況の長期化を背景に勤労者にも社会的孤立感や生活不安が増大し、福祉ニーズも複雑化・多様化するという社会情勢にあります。また高齢化社会の進行とともに家族の介護放棄や虐待の問題が指摘されているほか、高齢者の人権擁護の観点から、認知症などに伴う財産保護や身上監護はどうあるべきかといったさまざまな課題が提起されています。今後は一人暮らし高齢者や夫婦のみの世帯がより一般的となるのが予想されますので、将来介護が必要となった時どのような形で生活を続けら

れるか、多くの人にとって老後の生活は大きな関心事となっております。

社会全体のこうした状況を踏まえ、社会福祉協議会が従来から展開してきた小地域福祉活動を基盤に、さまざまな住民課題によりきめ細かく応えていくことが求められております。

「誰もが安心して暮らせる支えあいのまちづくり」を基本理念に、地域住民や福祉施設、団体、機関など、関係者との連携を一層強め、市民の福祉ニーズに即した事業の展開、住民参加による福祉のまちづくりを推進してまいりたいと思っております。

また、福祉サービスを必要とする人々が安心して生活できるまちづくりを推進するために、介護保険制度・障害者自立支援制度における事業者として良質なサービスを提供し、運営改善や経営体制の安定化を図りながら在宅福祉サービスの充実に努めていきたいと思っております。

会員の皆様には、社協活動に対するご理解と尚一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

北杜市社会福祉協議会新理事・監事・評議員

理事・監事

会長	長田 伯雄
副会長	坂本 房恵
〃	手塚 靖友
理事	浅川 定良
〃	浅川 一
〃	井上 安秋
〃	植松 幹夫
〃	柏木 繁
〃	小池 光夫
〃	斉木 正光
〃	坂本 等
〃	清水 克己
〃	津金たま子
〃	中嶋 節子
〃	藤原 正次
〃	本間 勝
監事	浅川 勲
〃	入江 薫
〃	小泉 操

役員の任期満了に伴い、5月に行われた理事会・評議員会において、下記の方が理事・監事・評議員に選出されました。

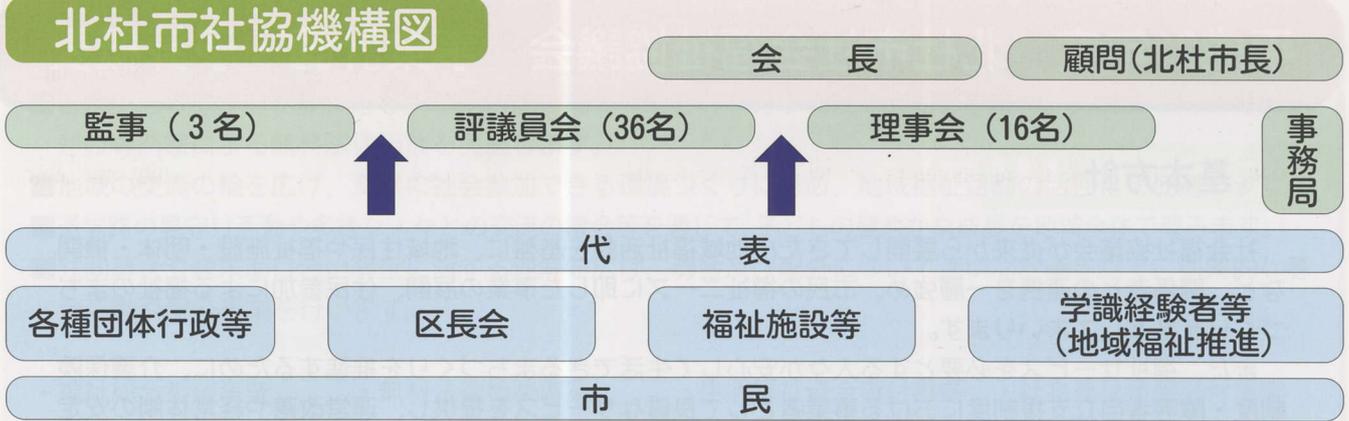
任期は平成21年6月1日～平成23年5月31日になります。

なお、理事会は「執行機関」、評議員会は「諮問機関」となります。

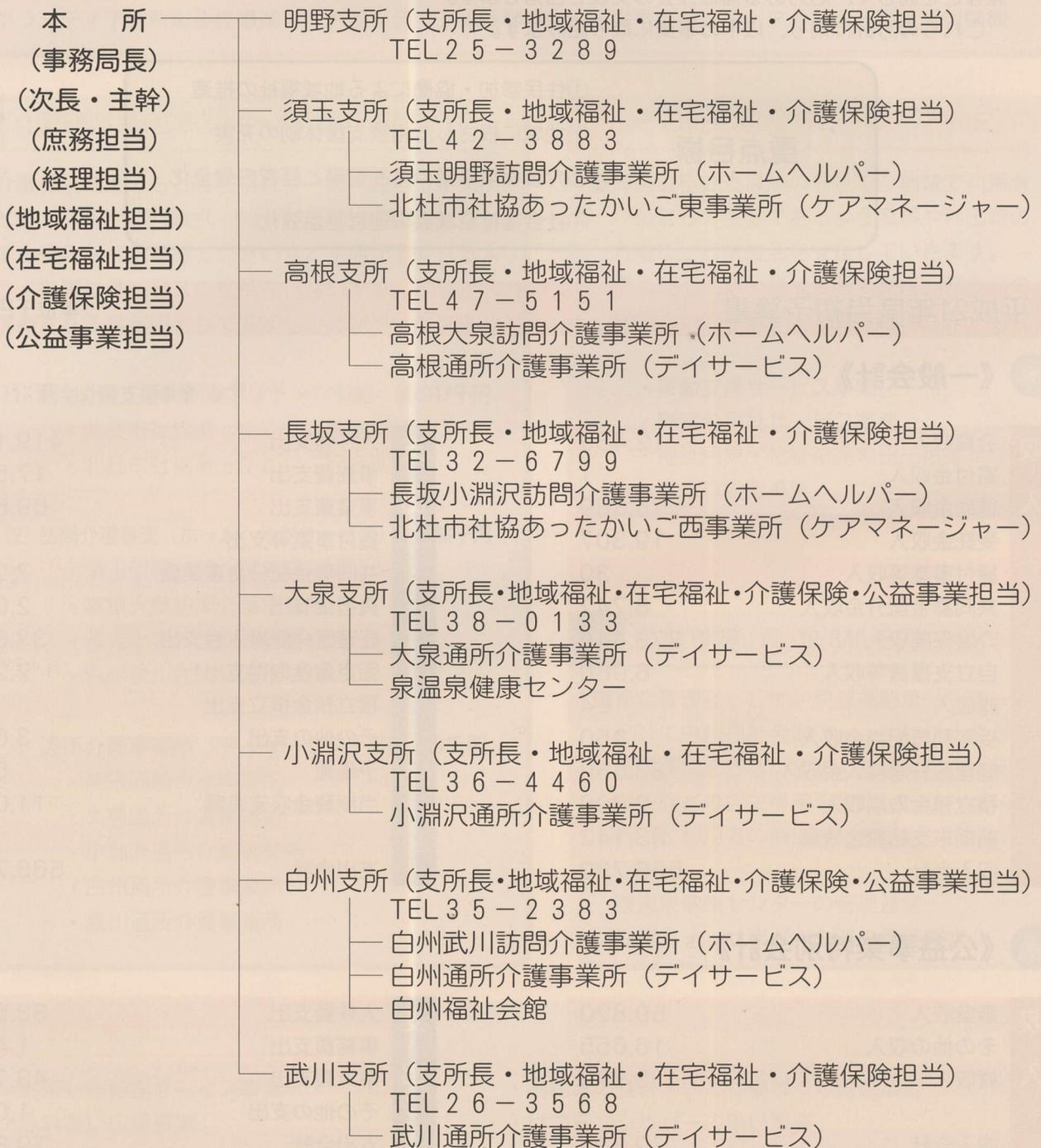
評議員

明野町	長田 史	小泉汎明	篠原泰雄	鷺津義芳	
須玉町	碓井正明	小尾安之	川久保宏徳	坂本宗子	清水啓子
高根町	浅川みのり	伊東春福	長田 功	五味久代	清水卓司
長坂町	入山好子	小林一彦	鈴木今朝和	平島康正	米澤茂徳
大泉町	浅川敏郎	浅川倫世	小池光和	三井高秀	
小淵沢町	清水正之	中山壽弘	仁科 雅	平出香織	
白州町	伊藤慧子	島口邦昭	名取政克	向井睦尚	
武川町	輿石圭俊	薦木園子	三澤完広	溝口秀元	
市役所	原 かつみ				

北杜市社協機構図



事務局組織図



平成21年度 北杜市社会福祉協議会 事業計画・予算概要

基本方針

社会福祉協議会が従来から展開してきた小地域福祉活動を基盤に、地域住民や福祉施設・団体・機関など、関係者との連携を一層強め、市民の福祉ニーズに即した事業の展開、住民参加による福祉のまちづくりを推進してまいります。

また、福祉サービスを必要とする人々が安心して生活できるまちづくりを推進するために、介護保険制度・障害者自立支援制度における事業者として良質なサービスを提供し、運営改善や経営体制の安定化を図りながら在宅福祉サービスの充実に努めると共に、福祉事業を推進するために社会福祉協議会の会員制度の拡充により自主財源の確保と運営基盤の強化を図り、事業内容の点検見直しと新規事業の開発などを通じて、活力ある福祉社会の実現を目指します。

これらの方針に則り、以下の事業に取り組みます。

重点目標

- ①住民参加・協働による地域福祉の推進
- ②地域に根ざした相談支援体制の充実
- ③介護保険事業の体制整備と経営の健全化
- ④社会福祉協議会の運営基盤強化

平成21年度当初予算書

(単位千円)

《一般会計》

収入	会費収入	12,489	支出	人件費支出	419,136
	寄付金収入	1		事務費支出	17,541
	補助金収入	75,889		事業費支出	69,636
	受託金収入	19,307		貸付事業等支出	30
	貸付事業等収入	30		共同募金配分金事業費	7,242
	共同募金配分金収入	8,742		負担金支出	2,068
	介護保険収入	373,446		経理区分間繰入金支出	33,650
	自立支援費等収入	6,960		固定資産取得支出	2,202
	雑収入	124		積立預金積立支出	1
	受取利息配当金収入	950		その他の支出	3,655
	経理区分間繰入金収入	33,650		予備費	500
	積立預金取崩収入	2,000		当期資金収支差額	11,069
	前期末支払資金残高	33,142			
	収入合計	566,730		支出合計	566,730

《公益事業特別会計》

収入	事業収入	59,820	支出	人件費支出	33,549
	その他の収入	16,655		事務費支出	1,446
	雑収入	3,370		事業費支出	43,798
	収入合計	79,845		その他の支出	1,052
			支出合計	79,845	

地域福祉推進事業・ボランティア活動推進事業・共同募金配分金事業

128,347千円

- 日常生活の様々な相談に応じ、問題解決のための助言等を行う福祉総合相談事業や、弁護士や司法書士などの専門家による無料法律相談を実施します。
- 地域の交流の輪を広げ、気軽に社会参加できる環境づくりに努め、地域福祉活動の活性化を促進します。
- 通学路の見守り活動や多様な人々との交流の機会等を通じて、子どもの健やかな成長を地域全体で育みます。
- 共同募金や歳末助け合い募金に対する理解を広げ、募金及び配分について適切な計画を立て、効果的な募金活動や配分事業を行います。

- ・福祉総合相談事業
- ・無料法律相談事業
- ・生活福祉資金貸付事業
- ・社会福祉金庫貸付事業
- ・居室整備資金貸付事業
- ・日常生活自立支援事業
- ・地域交流事業
- ・安全パトロール事業
- ・家族介護教室
- ・出産お祝い品贈呈事業
- ・ハッピーフリーマーケット事業
- ・共同募金運動の推進
- ・福祉教育の推進事業
- ・健康福祉大会
- ・広報誌の発行
- ・ボランティア活動普及校事業
- ・ボランティア体験学習会
- ・災害ボランティアセンター設置運営訓練

介護保険事業・在宅福祉サービス事業 412,172千円

- 介護保険制度のもと在宅福祉サービスを担う事業所として、高齢者や障がいのある方が要介護状態になっても住みなれた地域でいきいきと生活がおくれるよう、良質なサービスの提供を行ないます。地域から信頼される事業所として安定した経営に努めます。

(1) 居宅介護支援事業(ケアプランの作成) 56,017千円

- ・北杜市社協あったかいご東事業所
- ・北杜市社協あったかいご西事業所

(2) 訪問介護事業(ホームヘルプサービス) 92,636千円

- ・須玉明野訪問介護事業所
- ・高根大泉訪問介護事業所
- ・長坂小淵沢訪問介護事業所
- ・白州武川訪問介護事業所

(3) 通所介護事業所(デイサービス) 263,519千円

- ・高根通所介護事業所
- ・大泉通所介護事業所
- ・小淵沢通所介護事業所
- ・白州通所介護事業所
- ・武川通所介護事業所

その他の福祉サービス 7,966千円

- 障害者自立支援法のもとで、地域で利用者が自立して生活できるよう家事や外出時の介護など日常生活を支援していきます。また福祉用具・福祉車両の貸与、緊急時の備えとしてAEDの設置を継続します。

- ・移動支援サービス事業
- ・障害者福祉サービス事業
- ・福祉用具・福祉車両の貸出事業
- ・AED設置事業

公益事業 79,845千円

- 指定管理者として、泉温泉健康センターならびに白州福祉会館フォッサマグナの湯の管理運営を行ないます。整体や市民ギャラリーなどの自主事業を実施し、サービスの向上と利用者の増に努めます。

泉温泉健康センターの管理運営
白州フォッサマグナの湯の管理運営

市受託事業 18,245千円

- ・お楽しみ給食サービス事業
- ・高齢者の生きがいと健康づくり推進事業
- ・ふれあい広場事業
- ・はつらつシルバーの集い事業

平成20年度 事業報告

地域福祉推進事業・共同募金配分金事業 129,884千円

1 広報啓発

- ①社協だより「ほのぼの」の発行
- ②ボランティアだより「杜のボランティア」の発行
- ③ホームページの開設・維持
- ④北杜市健康福祉大会2008
- ⑤北杜市地域福祉活動計画の策定

2 ボランティア活動推進事業

- ①学童・生徒のボランティア活動普及校事業
- ②ボランティア活動基盤整備事業
- ③ボランティア研修バスの実施
- ④読み聞かせボランティア養成講座の実施
- ⑤安全パトロール
- ⑥ボランティア体験学習会
- ⑦福祉車輛・福祉機器の貸し出し・AEDの設置
- ⑧災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施
- ⑨ボランティア推進大会

3 歳末たすけあい慰問事業

4 各種団体事務局

- ①北杜市長寿者クラブ連合会
- ②北杜市身体障害者福祉会
- ③北杜市母子父子寡婦福祉会

援護対策事業 424千円

- 1 北杜市社会福祉金庫貸付事業
- 2 無料法律相談事業
- 3 福祉総合相談事業
- 4 生活福祉資金貸付事業
- 5 居室整備資金貸付事業
- 6 日常生活自立支援事業

地域委員会受託事業 3,627千円

- ・一人暮らし高齢者会食事業
- ・地域ふれあい交流事業
- ・ボランティア活動助成事業
- ・給食サービス事業
- ・福祉部支援事業

市受託事業 17,049千円

- 1 はつらつシルバーの集い事業
- 2 ふれあい広場・いきいき広場事業
- 3 お楽しみ給食サービス事業
- 4 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業

介護保険事業・障害福祉サービス 391,989千円

- | | |
|----------------------|-----------|
| 1 訪問介護事業(ホームヘルプサービス) | 94,814千円 |
| 2 居宅介護支援事業(ケアプランの作成) | 55,140千円 |
| 3 通所介護事業(デイサービス) | 242,035千円 |

公益事業 77,692千円

- 1 温泉健康センターの管理運営
- 2 白州福祉会館の管理運営(フォッサマグナの湯)

平成20年度収支報告

(単位千円)

《一般会計》

収 入	会費収入	12,490
	寄付金収入	3,458
	補助金収入	74,066
	助成金収入	100
	受託金収入	19,091
	共同募金配分金収入	5,473
	介護保険収入	377,087
	自立支援費等収入	7,547
	雑収入	592
	受取利息配当金収入	1,246
	会計単位間繰入金収入	3,500
	経理区分間繰入金収入	31,310
	施設整備等補助金収入	5,224
	積立預金取崩収入	5,500
	その他の収入	234
収入合計	546,918	

支 出	人件費	405,355
	事務費	14,385
	事業費	66,714
	共同募金配分事業	5,473
	助成金支出	1,009
	負担金支出	1,672
	経理区分間繰入金支出	31,310
	固定資産取得支出	6,361
	社会福祉基金積立	6,958
	その他の支出	3,736
支出合計	542,973	

《公益事業特別会計》

収 入	事業収入	60,423
	その他の収入	16,655
	雑収入	3,756
	受取利息配当金収入	30
収入合計	80,864	
支 出	人件費	30,130
	事務費	1,435
	事業費	41,505
	会計単位間繰入金支出	3,500
	固定資産取得支出	310
	その他の支出	812
支出合計	77,692	



本年度から情報をよりリアルタイムにお届けするため、ボランティア広報紙「杜のボランティア」は社協だより「ほのぼの」内に合併しリニューアルしました。

「地下道壁画の完成まで」

甲陵高等学校教諭 八巻 専文

国道141号線のバイパスが出来て13年経過しました。この間近所の老人・子供3人の命が交通事故で亡くなりました。その内の1件が昨年7月に起きた小学1年生の事故でした。その3日前に顔を見て挨拶し天真爛漫な笑顔がとても印象に残っております。あんなにかわいい子がなぜと思いました。そこで今ある地下道の利用を推進してゆきたいと思いました。これまでも地下道に落書きがされ、その度に建設事務所が消していました。小学生がもっと楽しく気持ち良く利用出来ないかをインターネット等で調べましたところ地下道に明るい絵を描くことで落書きも無くなり通学もしやすくなった例が全国で多くありました。東京・静岡・山梨等の壁画を参考に見に行き、建設事務所にも相談したところ良い返事を頂きました。そこで肝心のペンキを調達するために思い切って、あるメーカーに事情を話しましたところ無償提供をしてもよいとのことで計画がスムーズに運びました。有志を募りボランティア団体を立ち上げ、多くの協賛を頂き2つの班に壁画の計画を説明し理解を得ることができました。3月の春休みを利用し小学・中学・高校・一般公募と多くの人々の協力で完成することが出来ました。それぞれの絵に交通安全の魂があり、それ以上に、人の心を和ませるとても心のこもった明るい力作が揃いました。完成間近の段階で世界遺産敦煌壁画の保存推進の中心者である高名な常嘉煌氏が天女絵の雲を加筆して下さったことは本当に至福でした。お時間がありましたら是非見学においで下さい。多くのボランティア有志の協力と、多くの協賛していただきました関係諸団体に心から感謝を申し上げます。



「ボランティアに思う」

明野町ボランティア友の会サン・愛 会長 藤内 悦子

昭和57年、社会福祉協議会の法人化に伴い、今まで行ってきた活動を正式に組織化し、「明野町ボランティア友の会サン・愛」として約30年近くにわたり現在に至っています。

活動の内容としては、食事サービス・デイサービスの手伝い、農村公園の清掃、ふるさとづくり花苗植えつけ、子育て支援、高齢者の友愛訪問、納涼まつり、大根まつり、ひまわりの種まき等で、研修としては講演会、県外研修他の内容で活動しています。

メインとしては食事サービスです。過去に於いては毎月2回実施していたのが、合併後は年4回と言う事で、お年寄りから強い要望があり地域委員会の協力を得て今では年8回実施しています。

また、毎年夏休みには小中学生に食事づくりの応援をしてもらい、お年寄りと一緒に会食をします。あるお年寄りは「孫といっしょに食べている様でたいへん嬉しい。」と涙さえ浮かべる人も少なくありません。この様に限られた時間の中でお年寄りの喜ぶ姿に接し彼女達は何か得る物があるだろうか？あってほしい。優しさ、心のあたたかさを感じてこれが奉仕であることを自分でしっかり受け止めて成長をしていってほしい。

次に研修の1回目は「命のおとさ」がテーマでした。講師としてボランティア協会の新理事長に就任された大沢英二先生でした。そして結びにせっかく生まれて来たこの命をいとも簡単に切り捨てる世の中、なぜもっと自分を大切に出来ないのか、もっと大切にしてほしい。よい話でした。2回目は県外で神奈川県にあるライスセンターで本当に素晴らしい施設です。ここでのボランティアさんは非常に明るく真剣そのもの輝いて見えた時、負けてはいられないと思いました。地域、環境の違いこそあれ、私達は私達の地域で出来る事を出来る限りこれからもがんばって行きたいと思う。





「日々思うこと」

戦前に生まれ、戦中戦後を生きてきた私にとって、今の日本は、どうしてこんなまったく情けない国になってしまったのだろうか、心が痛む毎日です。もちろん時代の変化と共に世の中を移り変わるのは当たり前のことですが、古き良き時代の残すべき良い所は一つも無かったのでしょうか？

嘗ては治安の最も良い国として誇れたはずなのに、経済成長とともに、バブルの全盛期に始まり、物の使い捨て時代を通り「もったいない」と言う言葉を使わなくなり、耐える心も薄れた若者が増え…その子供たちを育てた親にも責任はあると思いますが、政治の影響もまったく無いとは言えません。

人間関係が希薄になり「隣は何を…」の都会の生き方が地方にまで及んでいる現在、心の拠り所もなく親子での殺人、無差別殺人、幼い子供の虐待等、更には自殺者の数が世界でもワースト1と嘆かわしい現実を目を耳を覆いたくなるニュースに毎日のように触れる時、命の尊さをどう考えているのでしょうか。

東南アジアで毎年救済活動を行っているある有名な方によると、食べるものにも事欠く貧しい人達（特に子供たちも含め）でさえ前向きに一生懸命生きていて自ら命を絶つ人など一人もいないことを聞き、その人達のようにしたたかに生きることの出来

ない心のひ弱さが腹立たしくさえ思えます。

核家族、個人情報等が先走り以前のような地域ぐるみでの心の触れ合い、助け合いも希薄になってしまったことが残念でなりません。

学校に於いても閉ざされた門で、親であっても勝手に校門をくぐる事が出来ないとか。

一個人の声などは到底反映されるものではありませんが、国を挙げて取り組まなければならない問題と思います。

少子高齢化問題に於いても、高齢者の福祉サービスについては社会福祉協議会のご尽力により充実しており大変ありがたいことですが、少子化に到ってはまだまだ程遠い感があります。

安心して子供を産み育てられる社会の一日も早い実現と安心して住むことの出来る国の施策の実現を強く望みます。

イタリアも同じ問題を抱え「子供がいなくなる」との見出しで、施策に取り組む報道を先日のテレビで見ましたが、我が国でもその危機が迫っていると思うのは過言かも知れませんが、そんな時代にならないよう、年寄りの取り越し苦労と笑われても後世により良い時代を残すよう努力するのも今の私達の務めではないでしょうか。

子供は次世代を背負う国の宝ではありませんか!!

北社市母子父子寡婦福祉連合会 会長 浅川みのり

「社会福祉協議会会費をお願いいたします!!」

社会福祉協議会は地域福祉活動の推進を行う公共性の高い民間福祉団体で、会員の皆様の会費を貴重な財源として会の運営を行っております。

市民の皆様には社会福祉協議会の福祉活動（P4~5事業計画をご覧ください）をご理解いただき社会福祉協議会の会員になっていただけるようお願い申し上げます。

社会福祉協議会費 1世帯 1,000円（年額）

《会費の納入方法》

◎区長様など自治会役員の方々を通して納入をお願いしています。

◎社会福祉協議会窓口でも随時受け付けております。

★直接納入していただける方は、お手数ですが北社市社協へご連絡ください。（TEL 47-5202）

編集後記

未成年者が犯罪を犯すと、決まって「今の親はなっていない」みたいな言い方をされます。が…「なっていない親」を育てたのは、誰でしょうか？「なっていない」と言っている世代だったりしますよね。いつの世も、「なっていない親」はいるでしょうが、「一生懸命、心をつくして子育てをしている親」のほうがたくさんいると思います。

社協では、子育て支援にも力をいれていきたいと考えています。

あたたかいご寄付 ありがとうございます

平成21年5月15日現在

須玉町仏教会様	(須玉町)	108,377円
宗教法人真如苑様	(長坂町)	1,000,000円
高根町文化協会社交ダンス部様	(高根町)	20,000円
故進藤朝雄様	(小淵沢町)	30,000円
山田一郎様	(明野町)	100,000円
高根清里小学校児童会様	(高根町)	40,000円
故中山三雄様	(小淵沢町)	100,000円
清里聖アンデレ教会様	(高根町)	10,000円
千野三男様	(大泉町)	50,000円
矢崎みちゑ様	(須玉町)	てぬぐい・タオル約100枚
伏見さと子様	(大泉町)	30,000円
新海洋雄様	(小淵沢町)	100,000円
故大久保勝雄様	(白州町)	1,000,000円
跡部 位様	(甲斐市)	電動ベット1基
谷戸盛夫様	(大泉町)	30,000円